

2013年度地域労福協研修会 報告

～ 協同組合と労働組合の連携で共助の輪を拡げよう！ ～

福岡県労福協は、2013年度事業計画に則り地域労福協研修会を9月・10月において開催しました。各地域労福協にはその受入準備をお願いし、7地域労福協の協力により延べ202名のリーダー・活動家の参加がありました。

地域労福協研修会は今年度で13回目となりますが、この間、その時々課題をテーマに掲げ開催してきました。2011年度では「労働運動、労働者福祉運動の理念・歴史、その伝承者となるリーダー・活動家の育成」、2012年度では「国際協同組合年を考察する」をテーマに開催しました。

今年度は、過去2年間のテーマにおける課題を具現化するため、私たちはどう行動すべきなのか！を主要課題とし、「協同組合と労働組合の連携で共助の輪を拡げよう」をメインタイトルに掲げ、労福協・労働金庫・全労済の事業団体からそれぞれの立場での課題を提起しながら、情報を共有し認識統一を図ることを目的に開催しました。



福岡地域労福協/主催者挨拶をする島村幸利副理事長

★労働者自主福祉運動のサイクルを確立しよう
★「新しい公共」に向き合う“ろうきん”
★労働組合における共済の役割の変化と
これからのあり方



筑紫朝倉地域労福協/主催者挨拶をする山城正一副理事長

研修会では、福岡県労福協から「労働者自主福祉運動のサイクルを確立しよう」、九州労働金庫福岡県本部から『「新しい公共」に向き合う“ろうきん”』、全労済福岡県本部から「労働組合における共済の役割の変化とこれからのあり方」をサブタイトルとして講話を行いました。

講話の柱は、労働組合と生協・労働金庫・全労済は、過去の運動の歴史からも密接な関係にあることから、“事業団体(協同組合)と労働組合は共に運動する主体である”ことを再認識し、協同組合と労働組合の連携を更に強化する中で、協同組合の収益や共助の仕組みを、メンバーだけでなく、広く社会に還元していく公益(公助)の取り組みを推進していくことが急務。そのためには、生協・労働金庫・全労済の産みの親とも言える労働組合の役割が大きいことの認識統一と運動の強化でした。今後は労働組合が組織内運動を第一義としつつも、その枠を越えた社会運動への参画を推進することを期待するものです。

【開催状況】

地域労福協名	開催期日	開催場所	参加人員	主催者代表及び講師			
				主催者挨拶	労福協	九州労金	全労済
福岡地域労福協	09/01(日)	朝倉市・パ・レンス小野屋	28名	島村副理事長	大原専務	長野部長	岩木専務
北九州地域労福協	09/24(火)	北九州市・真鶴会館	50名	高島理事長	大原専務	長野部長	今泉課長
北筑後地域労福協	10/04(金)	久留米市・ハイネホテル久留米	25名	山城副理事長	大原専務	長野部長	岩木専務
京築田川地域労福協	10/09(水)	行橋市・金龍	21名	高島理事長	大原専務	長野部長	岩木専務
筑紫朝倉地域労福協	10/10(木)	筑紫野市・生涯学習センター	24名	山城副理事長	大原専務	長野部長	岩木専務
南筑後地域労福協	10/20(日)	八女市・八女上陽GC	19名	高島理事長	大原専務	長野部長	今泉課長
遠賀川地域労福協	10/27(日)	久山町・レイクサイドホテル久山	35名	高島理事長	大原専務	長野部長	岩木専務

第16回連合福岡定期大会

向こう2年間の運動方針、第14期役員を選出などを満場一致で承認

10月29日、福岡市中央区の都久志会館で、第16回連合福岡定期大会を開催しました。大会は、太田副会長の開会挨拶に続いて、議長団に日教組・高教組の宮崎さん、セラミックス連合の守田さんを選出して始まりました。

冒頭に高島会長が挨拶し、労働分野の規制緩和、春季生活闘争、組織拡大、政策・制度要求など当面する諸課題について所見を述べながら、「働くことを軸とする安心社会」、「ディーセント・ワーク」の促進をめざした、見える連合福岡、見える活動を展開していきたいとの考えを表明しました。

「2013年度活動報告」、「会計決算報告」、「会計決算監査報告」などの報告、第1号議案「2014～2015年度運動方針(案)」、第2号議案「2013年同一般会計収支剰余金の処分(案)」、第3号議案「2014年度予算(案)」、第



執行部を代表して挨拶する高島喜信会長

4号議案「規約改正(案)」、第5号議案「役員選出」などの議案審議とも満場一致で承認されました。

「役員選出」では、専従役員のうち、下田事務局長、青柳副事務局長が退任し、後任に西村芳樹事務局長(自動車総連)、田井孝二副事務局長(電機連合)が就任しました。また、連合福岡初めての女性専従役員として、豊福明子組織・政治局次長があらたに就任しました。

このあと、「ストップ・ザ・格差社会! すべての働く者の連帯で『安心社会』切り拓こう!」という大会宣言、ディーセント・ワークの実現に向けたアピールを採択し、浅山副会長の閉会の挨拶、団結ガンバローで締めくくり、閉会しました。



団結ガンバローの音頭を執る高島喜信会長

地域だより

～南筑後地域労福協～



災害乗り越え一日も早い復旧復興を

平成24年7月に発生した九州北部豪雨によって南筑後地域、特に八女市はこれまで経験したことのない大変な災害に見舞われました。全市域に及ぶ被害内容は、一時避難135ヶ所6,659人、孤立集落2,013世帯7,817人、断水戸数3,889世帯。

建物被害については、全壊161棟、大規模半壊40棟、半壊168棟でこのうち住宅の被害は61棟、大規模半壊29棟、半壊142棟。その他にも停電、電話の不通等の被害が発生。特に固定電話、携帯電話の不通状態により地域間、地域と行政、行政間の情報途絶が生じました。



ボランティア活動



八女市へ募金贈呈



また、産業の分野でも基幹産業である農業において、水稻や電照菊、八女茶やかんきつ類、ハウス等の生産施設被害を含め莫大な被害額となりました。

道路や橋梁の損壊も深刻で被災から1年4ヶ月が経過した今も幹線道路で一部迂回路が残り、仮設住宅で暮らす市民の方々も何十人を数え今なお不自由な生活をおくっています。加えて経済的にも落ち込んでいますが、連合に集う仲間の皆様方からの温かい見舞金カンパや義援金、復興応援物販、多数のボランティア支援も頂き現地の皆様の励みになっています。現在、その災害を乗り越え着実に復興の道を歩み始めていますが、まだまだ道半ば。これからです。

11月からは本格的な紅葉の季節。釈迦岳や飛形山をはじめとする山々の素晴らしい紅葉に加え、各地域での秋祭りなどイベントや八女の魅力が目白押しです。

被災地の皆様の真の笑顔を取り戻すため是非多くの組合員の皆様、楽しい茶の国やめへと皆様お出かけ下さい。

2013年度 南部労福協研究集会 in ふくおか

労働者福祉南部ブロック協議会(南部労福協)は、10月15日・16日の両日、福岡市内のホテルにおいて、2013年度研究集会を開催しました。研究集会には九州・沖縄の各県から関係者118名が参加しました。福岡県からは28名が熱心に参加しました。

研究集会は、梶田事務局長の司会で開会。冒頭、主催者を代表して森会長から挨拶があった後、来賓挨拶では、福岡県福祉労働部労働局の家守労働局長、連合九州ブロック連絡会を代表して連合佐賀の相川会長から連帯の挨拶がありました。

講演Ⅰでは、講師が労働組合顧問の経験から気付いた事案を中心に講話があり、講演Ⅱでは、講師が住まいの貧困に取り組む中での脱法ハウス問題や生活困窮者の住宅政策などについて講話があり、第一日目が終わりました。



7-711利用 福岡天神で開催された研究集会模様

[次第]

□特別講演Ⅰ(90分)

テーマ:「人は知識だけでは、自分のマネープランを見直さない」

講師: (株)FPユニオンLabo 代表取締役社長 宮越 肇 氏

□特別講演Ⅱ(60分)

テーマ:「脱法ハウス問題と住まいの貧困」

講師: NPO 法人自立生活サポートセンターもやい 理事長 稲葉 剛 氏

□特別講演Ⅲ(60分)

テーマ:「労働団体・事業団体の連携について」

講師: 労働者福祉中央協議会 副会長 渡邊和夫 氏

□特別報告Ⅰ(40分)

テーマ:「労働金庫の課題と展望」

報告者: 九州労働金庫 常務理事 片山鉄郎 氏

□特別報告Ⅱ(40分)

テーマ:「全労済西日本事業本部の今後の事業推進活動にむけて」

報告者: 全労済西日本事業本部 総務部長 寺下博康 氏

第二日目は9時から開会し、講演Ⅲでは、中央労福協に設置された労働団体・事業団体連携行動委員会の「利用促進グループ」と「共助拡大作業グループ」での議論のまとめを中心に、諸課題の提起がありました。特別報告では、九州労働金庫並びに全労済から、それぞれの事業方針と労働組合との連携強化による社会貢献のあり方について報告と課題提起がありました。

閉会では、開催県である福岡県労福協の大原専務理事から「研究集会で得た情報・知識を地域運動に活かして欲しい」と挨拶があり、全日程を終了しました。

中央労福協「事業団体・地方労福協合同会議」

中央労福協は10月8日・9日の両日、東京都内で関係者86名が参加するなか、2013年度事業団体・地方労福協合同会議を開催しました。

合同会議では、最初に、中央労福協・各事業団体・各ブロック労福協から、活動経過や活動計画等の報告がありました。協議事項では、労働団体・事業団体連携行動委員会の「共助拡大作業グループ」における議論のマトメが提起され、質疑応答がありました。続いて、11月29日に開催される中央労福協第61回定期総会に係る運営と活動方針案が提起され、活動方針案に対して質疑応答があり、一日目が終わりました。

二日目は、前日に引き続き、協議事項に対する質疑を行いました。その後、消費者庁消費生活情報課の片山課長と米山課長補佐から「消費者教育推進法と地域・職域での消費者教育の推進に向けて」と題して、消費者教育推進法の概要を中心に説明があり、若干の質疑応答がありました。消費者教育推進法の基本方針は、「誰もが、どこに住んでいても、生涯を通じて、様々な場で、消費者教育を受けることができる機会を提供する」というもので、その担い手は、国・地方、行政・民間、消費者自身と幅広いものとなっています。

合同会議の最後は、中央労福協・大塚事務局長から合同会議の全体マトメを行い、二日間の会議を終了しました。

福岡県労働者支援事務所との意見交換会

福岡県労福協は、労働相談に係る諸問題への対策協議を行うことを目的に、福岡県労働者支援事務所の労働相談窓口担当者との意見交換会を10月17日に開催し、労福協側から連合福岡及び連合福岡ユニオンの代表者、ライフサポートふくおか相談員を含め6名が出席しました。なお、福岡県側は4労働者支援事務所の担当者を含め10名が参加しました。

意見交換会では、福岡県労福協の大原専務理事が司会進行役を務め、各担当者から労働相談の概要や特徴的な事例紹介を行いながら、課題や対策について意見交換を行いました。また、連合福岡から非正規労働センターの概要について説明と報告があり、今後の連携強化に向けた体制整備など、ネットワークの構築について意見交換を行いました。



労働相談意見交換会の模様

**連合福岡 非正規労働センターを設立
—全ての勤労者の働く環境の整備にむけて—**

連合福岡は9月28日、福岡市内において「非正規労働センター設立シンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、設立準備会・上野事務局長から「非正規で働く労働者が増えるなか、労働問題も多発しており、これらの問題解決と全ての働く人たちのディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を追求するため、連合福岡非正規労働センターを設立する」という設立主旨及び具体的な取組み内容の提起があり、了承されました。今後は、地域や学生への出前講座の実施、行政機関への提言、労働相談窓口等との連携強化など、運営委員会を設置するなかで、具体的な対応を図ることとしています。

特別講演では、労働政策研究・研修機構の呉学殊研究委員を講師に招き、「非正規労働と労働組合の役割」と題して講演がありました。



連合本部は、6年前に非正規労働センターを立ち上げるとともに、全国47都道府県にも非正規労働センターの旗を掲げ、非正規労働者と正面から向き合う運動を各地方連合会に求めています。

反貧困キャラバン2013「福岡シンポジウム」

11/22(金) 18:30・博多バスターミナル会議室

～人間らしい生活と労働の保障を求めて～

反貧困全国キャラバンは、誰もが安心して、希望をもって暮らせるような「やさしい社会」の実現をめざし、反貧困活動を発信する取組みを全国各地で行っており、昨年に引き続き、本年も8月から全国キャラバンがスタートしています。

福岡県では、9月12日～14日に受入れ、久留米市・福岡市・北九州市で街宣行動を展開しました。加えて、11月22日にシンポジウムの開催を計画しました。

福岡シンポジウムは、次の要領で開催されますので、多くの方の参加をお待ちしています。

- 名称：反貧困キャラバン2013 福岡シンポジウム
- 日時：2013年11月22日(金) 18時30分～
- 場所：博多バスターミナル9階大ホール
(福岡市博多区博多駅中央街2-1)

- 基調講演
テーマ「記者から見た日本の貧困の現実」
講師～白井康彦氏(中日新聞名古屋本社社会部編集委員)
- ディスカッション 白井康彦 × 池田和彦
(筑紫女学園大学人間科学部人間科学科教授)

- 参加費：無料(事前申込不要)
- 主催：反貧困キャラバン2013 福岡実行委員会
- 問合せ：福岡県労働者福祉協議会(092-263-3141)

妊娠中から小学校入学までのママとお子さまを応援する。/

育児支援ローン



固定金利型
年1.0%

※別途保証料年0.5%または年1.0%が必要となります。

ご融資金額
(1万円以上:1万円単位)
最高100万円

※同一世帯、同一生計内の限度額です。ただし、育児期間中のお子さまが2名以上いる場合は200万円以内となります。

ご返済期間：**5年以内**

※育児期間中のみ据置期間をご利用いただけます。(据置期間中は利息のみのご返済となります。)



○くわしくは、九州ろうさんホームページまたは店頭の商品概要説明書でご確認ください。○ご融資金利はお申込日の金利ではなく、お借入日(ご契約日)の金利が適用となります。○ご返済額の試算はお気軽に(ろうさん)まで。パソコンが携帯電話から九州ろうさんホームページの「ローンシミュレーション」もご利用いただけます。○記載内容は2013年4月1日

ZENROSAI NEWS

4013S024

30th Anniversary **こくみん共済**
世代を超えて、安心をつなぐ。
個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

今日、「まさか」
について考えよう。



全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら **全労済** 全労済福岡県本部
(福岡県労働者共済生活協同組合)
全国労働者共済生活協同組合連合会